

## 大和小学校における登校に不安のある児童・保護者への支援について

(令和6年7月1日 大和小学校長)

大和小学校では、「不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること」を前提に、全校児童に「社会的な自立に向けた支援」を実施するに当たって、全ての児童に学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えることを目指し以下の内容に取り組みます。

- 1 登校することに不安や悩みがある児童に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外での学びの場と連携し、支援を行います。
- 2 児童や保護者で不安や悩みを感じている際には、担任、学年主任、学年部コーディネーターの他、管理職（校長・教頭・主幹）、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、関係する校務分掌の担当教諭が相談支援を行います。連絡アプリ（まなびポケット）や連絡帳、お手紙でもかまいません。ご希望に応じて、お話ししやすい場所や時間学校の出席者を調整します。

- 3 相談について、次のような準備をしています。

### ■教育相談

すべての職員が、児童や保護者の困り感に寄り添いながら相談支援を行います。相談しやすい環境整備を心がけております。連絡帳での相談・電話での相談・面談など、相談形態も様々です。どんな些細なことでもかまいませんので、ご相談下さい。

### ■スクールカウンセラー（SC）

毎週金曜日 8：40～15：10に来ています。相談時間の予約が必要です。予約は、直接学校へお電話いただいても、学級担任へ相談していただくこともできます。

### ■スクールソーシャルワーカー（SSW）

月2回木曜日に 14：00（または14：30）～16：55に来ています。不定期週となっております。こちらも相談予約が必要です。

### ■さわやか相談員

火曜日・金曜日 9：30～14：10に来ています。校舎内を巡回して声掛けしたり、休み時間に一緒に遊んだりしながら児童の相談に乗っています。教員や専門職とは異なる立場で、児童のお話をお聞きします。

- 4 支援について、次のような準備をしています。

### ■ステーション（在籍学級以外の居場所）

学校生活に於いて不応を起こして学級に入れなない児童の居場所として、ステーションを設置し専任の教員を配置しております。専任の教員が授業で不在になる場合には、授業に入ったクラスの担任はステーションに入る体制をつくって対応しています。専任教諭だけでなく、学校全体で取り組むという意識を持って対応します。

## 大和小学校における登校に不安のある児童・保護者への支援について

(令和6年7月1日 大和小学校長)

### ■オンライン学習の実施

児童・保護者と相談し必要に応じ、学習用端末（chromebook）や自宅のパソコン等を通じてオンライン授業や学級活動に参加したり、その様子を見たりすることができます。

### ■学年部コーディネーターの配置

低・中・高学年部に1名専任のコーディネーターを配置しています。学年部のまとめ役として配置され、学年部内の様々な課題にベテランの視点でアドバイスしたり、支援したりします。基本的には、コーディネートすることが仕事なので、直接関わるよりもサポートする役割です。

### ■学校独自アンケートの実施

年3回「マキの木アンケート」「いこごちのいいクラスづくり」を実施し、学校・学級の様子を把握。早期発見・早期対応を心がけています。

### ■「ステーション」（子育て支援だより）の発行

子供たちや保護者が抱えている不安や悩みに対する対応の仕方や考え方。子育てをしてきての経験談などを交えながら、よりよい支援の仕方を提案し、児童や保護者の気持ちに寄り添いながら一緒に考えます。

- 5 児童が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWeb ページにまとめてあります。仙台市教育支援センターのアドレスは以下の通りです。

（「仙台市教育支援センター」：<http://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu>）

大和小学校は、これからも、教職員が一丸となって、登校に悩みがある児童が安心して学べる場を・提供していきます。ご相談は、大和小学校職員室（284-2450）までお願いします。

